

近世

1 早鐘眼鏡橋

国指定重要文化財

現在の大牟田市の南半分を治めていた三池藩が、江戸時代の1674(延宝2)年に早鐘池(ため池)の農業用水を通すために大牟田川に架けた「水路橋」です。橋の長さは11.2m、幅3.15m、凝灰岩を使用し造られています。眼鏡橋の構造を支える輪石最上部の要石には、二石にわたって竣工年月や関係者の銘文が刻まれています。わが国最古の石造眼鏡橋が長崎で造られてわずか40年後、大牟田の地でも築造されたことは、当時の大牟田の先進性を示すものです。石造アーチ型水路橋としては、日本最古の貴重なものです。



40 三池氏供養塔

市指定有形文化財



現在あじさい寺として有名な定林寺の境内にあります。1778(安永7)年に定林寺の池を清浄中に発見された墓石の断片をはめ込んだ、笠塔姿形の供養塔です。発見された墓石に彫られていた「萬勝融雄」の法名から三池親澄のものと考えられ、時の三池藩6代藩主立花種周が覆塔を造立し、供養塔としたものです。

44 歴代三池藩主墓地

市指定史跡



三池山の麓にある紹運寺の境内と、そこから道路を隔てた南側丘陵上の法輪寺跡の2ヶ所に分かれて所在します。紹運寺の境内には初代立花種次、6代種周の長男種徳、法輪寺跡には2代種長、3代種明、4代貴長、5代長照、この右手奥には藩祖直次とその父、高橋紹運の五輪塔があります。

おおむた文化財マップ



大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」

民俗文化財

43 三池地区祇園社祭礼行事“三池の大蛇山”

市指定無形民俗文化財

江戸時代から伝承される祭りで、蛇や龍を水の神とする「水神信仰」と、祭神を悪病よけや農業の神とする「祇園信仰」が絡み合った祇園祭に、大蛇が取り入れられ「大蛇山」の形が生まれました。毎年7月の第4土曜日と次の日曜日に、三池祇園宮をはじめとする六山で行われます(うち指定は二山)。祭りの特徴は、「大蛇山」の分布域が筑後国、特に柳川藩・三池藩を中心に分布しており他地域では類例を見ないこと。山車の形が福岡県内でも珍しく、基本は屋形山ですが「大蛇」という人形山のような飾りを施した山は、この地域の独特な特徴を有しており、三池地方の典型的な山車行事として位置づけられ、重要です。また地区内を巡行するなど祇園会の形態をよく残しており、三池藩立花家・柳川藩立花家の関わりがよくわかります。



42 岡天満宮祭礼行事

市指定無形民俗文化財

江戸時代から伝承されている民俗芸能で、農民の氏神に対する祈りと感謝の気持ちから生み出されたものと考えられます。毎年9月25日の小祭に夜7時から岡・坂井両地区の氏子によって岡天満宮の境内で行われます。ひゅうたん廻し(軒廻し)には雨乞いでの水の神信仰がうかがわれ、ぜんでこ踊り(銭太鼓踊り)は豊作を願う豊作踊り(田植えの様子)を表したものと考えられます。



ひゅうたん廻し



ぜんでこ踊り

近代化遺産

2 三池炭鉱宮原坑

世界文化遺産

宮原坑は1898(明治31)年に開坑し、1931(昭和6)年の閉坑まで三池炭鉱の主力坑として活躍しました。第二豎坑櫓は我が国で現存する最古の鋼鉄製の櫓(明治34年築)です。当時世界最大級のイギリス製デビーポンプを備え、湧水問題を克服しました。専用鉄道は馬車鉄道に始まり、1900(明治33)年に七浦坑～宮原坑～万田坑間が開通します。1905(明治38)年には三池港までの全線で開通し、最盛期には総延長が側線も含めると150kmにも及びました。



32 三井港倶楽部

市指定有形文化財

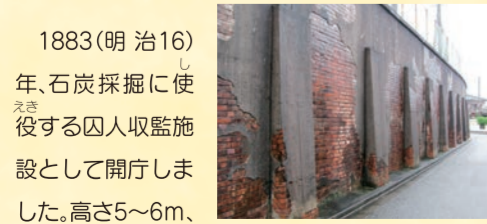
三池港の開港と同じく1908(明治41)年に、外国船舶船員の休憩所や政財界の社交場として建造されました。2階の勾配のきつい屋根と1階の傾斜の緩い屋根との組合せや、外壁にみられるハーフチンパー(交差する梁や柱)が建物の優美さを引き立てています。現在はレストランや結婚式場として活用されています。



11 旧三池集治監外堀及び石垣

国登録有形文化財

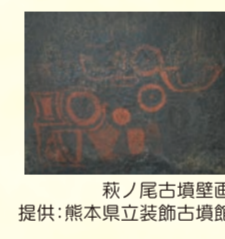
1883(明治16)年、石灰採掘に使用する囚人取監施設として開庁しました。高さ5～6m、全長約600mのレンガ造りの壁、正面入口のスロープと石垣が残っています。集治監は1931(昭和6)年に閉庁し、現在は福岡県立三池工業高校が建っています。



萩ノ尾古墳の見学方法

古墳の外観は、自由に散策して見学することができます。古墳の内部を見学したい場合は、「フードショップヒラヤマ」で古墳保存屋の鍵を借りて見学することができます。

お問い合わせ フードショップヒラヤマ 〒836-0096 大牟田市萩尾町1丁目305-2 TEL: 0944-51-4581



萩ノ尾古墳壁画 提供:熊本県立芸術古墳館

大牟田市立三池カルタ・歴史資料館

当館は日本と世界のカルタ、および郷土の考古・歴史資料を展示公開する資料館です。日本に1枚だけ現存する国産最古の「天正カルタ」(兵庫県芦屋市・滴翠美術館蔵)に「三池住貞次(三池に住貞次)」と製作者の記銘があることから、三池地方(現大牟田市域)が日本のカルタ発祥の地とされ、平成3年に日本で唯一の公立カルタ専門資料館として開館、平成18年には歴史資料館と統合し郷土の歴史も学べる施設となりました。当館が収集・展示の対象としているカルタには、日本古来の百人一首やいろはカルタ・歌カルタ・花札をはじめ、世界のトランプやタロット合わせなど多種多様なものがあります。当館ではそれらすべてを「カルタ」と定義し、開館以来その収集・展示に努め、現在では1万3,000点を超える所蔵点数を誇ります。これらのカルタを年間4回の企画展の中で展示・紹介しています。



ご利用案内 開館時間:午前10時～午後5時 休館日:月曜日・毎月最終木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)、展示替え期間(年4回、休館日の情報は市の広報やHPに掲載) 入館料:無料

交通案内 公共交通 西鉄・JR大牟田駅から南へ徒歩約10分 JR大牟田駅からバス(警察署前下車)約3分 車 九州自動車道南関ICから約25分 有明海沿岸道路大牟田ICから約5分

お問い合わせ 〒836-0861 福岡県大牟田市宝坂町2丁目2-3 TEL:0944-53-8780 FAX:0944-53-8781 HP:http://karuta-rekishi.com

【発行】大牟田市 世界遺産・文化財室 〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地 TEL:0944-41-2515 FAX:0944-41-2552 大牟田市HP: http://www.city.omuta.lg.jp 大牟田の近代化産業遺産HP: http://www.miike-coalmines.jp

2024年12月改訂

古代

4 潜塚古墳

国指定史跡

1959(昭和34)年の発掘調査で墳頂部から、2墓の組合せ式石棺が並んで発見されました。副葬品として神人龍虎鏡1面、内行花文鏡片1面、銅鍔(銅のやじり)47本等が出土しました。本来古墳は直径30m、高さ7mほどの円墳で、4世紀頃に築造されたと考えられます。箱形石棺という弥生時代以来の九州の伝統的な墓制をとりながら、副葬品には畿内の様相を示す銅鍔等が副葬されることから、九州における古式古墳の南限地域を示す古墳の一つといえます。(出土した副葬品は三池カルタ・歴史資料館に展示しています)



10 黒崎観世音塚古墳・経塚

県指定史跡

1994(平成6)年に発見された、全長約100mのこの地域では大型の前方後円墳です。確認調査で墳丘の斜面には置石がほどこされ、埴輪(埴型埴輪・円筒埴輪)が並んでいたことが確認されており、4世紀後半から5世紀に築造されたと考えられます。後円部には扁平な石と粘土で構成された主体部も確認されており、その上部からは平安時代の経塚も発見されています。



3 萩ノ尾古墳

国指定史跡

古墳の大きさは直径19m高さ4mの円墳で、6世紀後半につくられた装飾古墳として有名です。横穴式石室が西に向かって開口しており、石室の全長は8.2m、土台に巨大な石を据えその上に長方形の石を横長に積み上げた、頑丈で整美なつくりになっています。奥壁には赤色顔料でゴンドラ形の船や盾などの具体的な絵と、同心円文や三角文などの幾何学文が組み合わされて描かれています。(見学方法は、裏面をご覧ください)



提供:熊本県立芸術古墳館

天然記念物

29 臥龍梅

県指定天然記念物



普光寺に所在し、南側にある親株から北に向かう伏杖枝が地に触れたところで発根し、新たな株をつくりつつ伸びています。その姿は龍が臥しているように見えることから、臥龍梅と呼ばれ親しまれています。樹齡は350年は下らないという推定もありますが、正確なところはわかりません。

30 土穴のエノキ

県指定天然記念物



エノキとしてはかなりの巨木で、樹高は約24m、幹回り5.5m、枝張り東西27m、南北18mを誇ります。エノキはニシ科の落葉高木樹で、4月から5月にかけて花をつけます。

46 上内八幡宮のイチイガシ

市指定天然記念物



市内の数少ないイチイガシのひとつで、樹高は25.7m、幹回り3.4mを測り、枝張りは南北27m、東西26mを誇ります。イチイガシはブナ科の常緑高木で、花は4～5月に咲き、10月～11月ごろ堅果(どんぐり)がなります。

31 米ノ山断層及び石炭層の露頭

県指定天然記念物



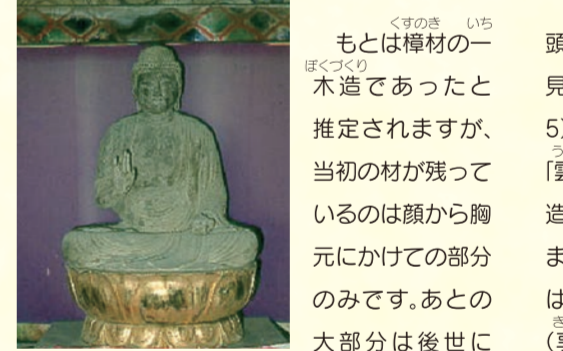
米ノ山断層は大牟田市南東部に位置し、延長約10km、幅200～300m程度が確認されている断層です。焼石山公園は、公園全体が米ノ山断層の上に位置しています。九州内でこれほどはっきりと、直立した断層面や石炭層の露頭が同時にいつでも観察できる所はなく、地球の活動や歴史を示す米ノ山断層は、地質学的に多大な価値を持っています。

中世

13 木造薬師如来坐像

県指定有形文化財

修理の際に阿形像の頭部胎内から墨書銘が見つかり、1473(文明5)年に三池氏が願主で「雲(運)慶九代」によって造られたことが判明しました。砵形像の内部は炭化しており、髹部は修理木札より1724(享保9)年に修理されたと考えられます。2軀とも頭部は挿首の捨材、髹部は樟材が用いられています。現在は本堂に安置されていますが、昔は山門(現存せず)に安置されていました。



阿形像の捨材で補修されています。平安時代後期ないし鎌倉時代初期の作と推定され、三池山の麓にある普光寺の本堂内に安置されています。

33 普光寺仁王像

市指定有形文化財

修理の際に阿形像の頭部胎内から墨書銘が見つかり、1473(文明5)年に三池氏が願主で「雲(運)慶九代」によって造られたことが判明しました。砵形像の内部は炭化しており、髹部は修理木札より1724(享保9)年に修理されたと考えられます。2軀とも頭部は挿首の捨材、髹部は樟材が用いられています。現在は本堂に安置されていますが、昔は山門(現存せず)に安置されていました。



阿形像と砵形像

34 教楽来天満神社 石造狛犬

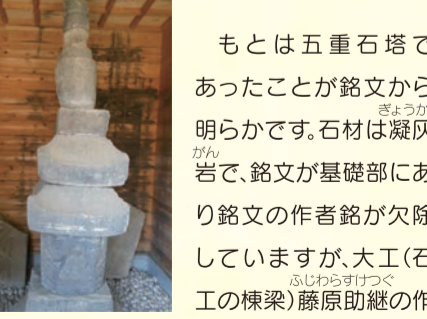
市指定有形文化財



もとは五重石塔であったことが銘文から明らかです。石材は凝灰岩で、銘文が基礎部にあり銘文の作者銘が欠落していますが、大工(石工の棟梁)藤原助継の(他に8例)であると考えられます。第一層の塔身には4面に四仏とさらに角を落として四天王が彫られ、笠の部分には梵字、基礎石には和歌も彫り込まれています。年号銘の1350(貞和6)年は観応と改元された後まで使用されていたことを示し、また北朝年号(貞和)が使われています。

16 宮原石層塔残欠

県指定有形文化財



もとは五重石塔であったことが銘文から明らかです。石材は凝灰岩で、銘文が基礎部にあり銘文の作者銘が欠落していますが、大工(石工の棟梁)藤原助継の(他に8例)であると考えられます。第一層の塔身には4面に四仏とさらに角を落として四天王が彫られ、笠の部分には梵字、基礎石には和歌も彫り込まれています。年号銘の1350(貞和6)年は観応と改元された後まで使用されていたことを示し、また北朝年号(貞和)が使われています。

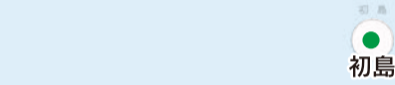
おおむた文化財マップ

凡例

— 一般国道	● 国指定・登録文化財
— 主要地方道	● 県指定文化財
— 一般県道	● 市指定文化財
— 市町道	⊗ 学校



大牟田市役所本庁舎旧館



初島



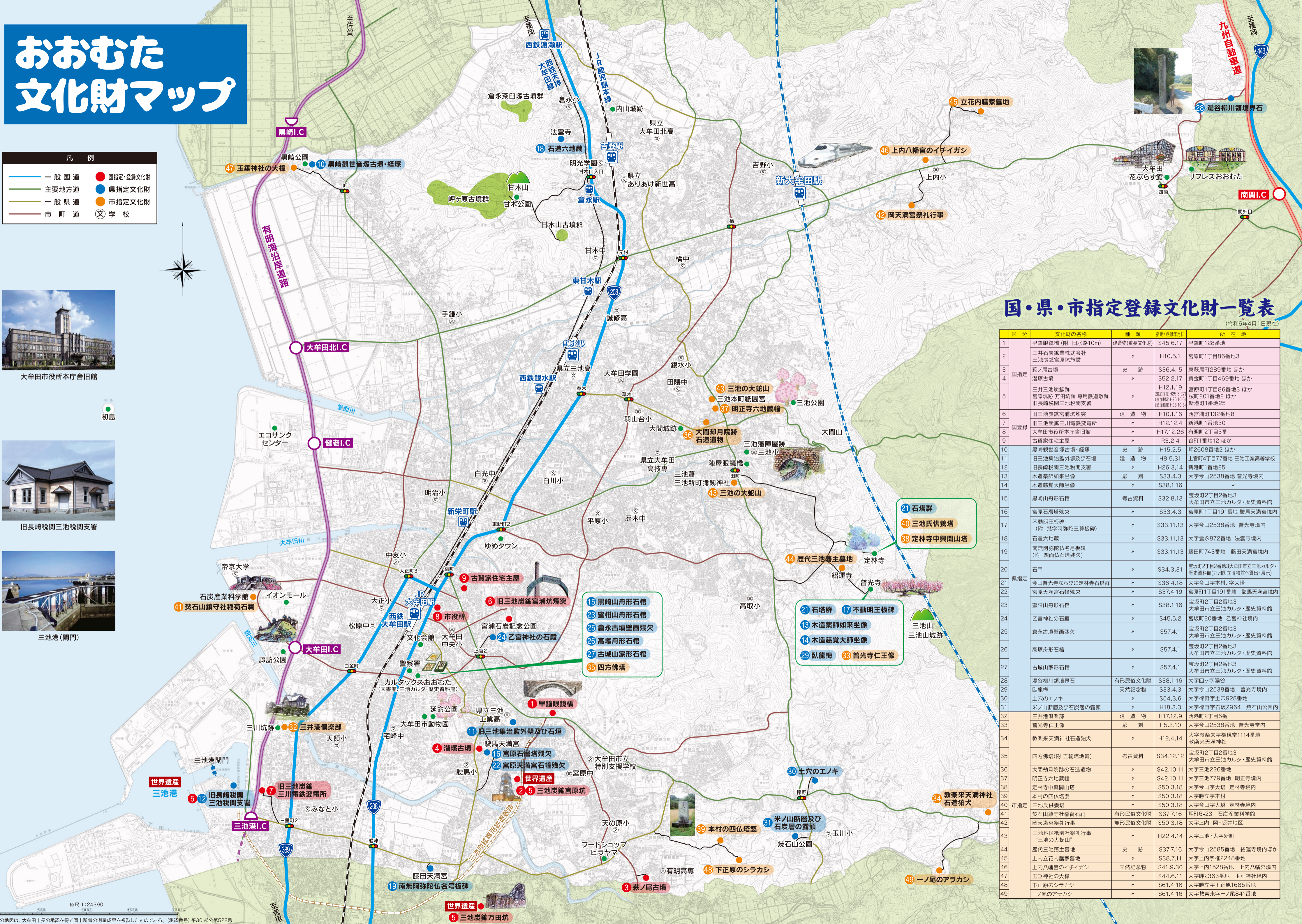
旧長崎税関三池税関支署



三池港 (開門)

この地図は、大牟田市長の承認を得て同市所管の測量成果を複製したものである。(承認番号) 平30.都公測522号

縮尺 1:24390



国・県・市指定登録文化財一覧表

(令和6年4月1日現在)

区分	文化財の名称	種類	指定・登録年月日	所在地
国指定	1 早鐘眼鏡橋 (附 旧水路10m)	建造物(重要文化財)	S45.6.17	早鐘町128番地
	2 三井石炭鉱業株式会社三池炭鉱宮原坑施設	史跡	H10.5.1	宮原町1丁目86番地3
	3 萩ノ尾古墳	史跡	S36.4.5	東萩尾町289番地 ほか
	4 潜塚古墳	史跡	S52.2.17	黄金町1丁目469番地 ほか
県指定	5 三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	史跡	H12.1.19 (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3)	宮原町1丁目86番地3 ほか 桜町201番地2 ほか 新港町1番地25
	6 旧三池炭鉱宮浦坑煙突	建造物	H10.1.16	西宮浦町132番地8
	7 旧三池炭鉱三川電鉄変電所	建造物	H12.12.4	新港町1番地30
	8 大牟田市役所本庁舎旧館	建造物	H17.12.26	有明町2丁目3番
	9 古賀家住宅主屋	建造物	R3.2.4	谷町1番地12 ほか
	10 黒崎観世音塚古墳・経塚	史跡	H15.2.5	碑2608番地2 ほか
	11 旧三池炭鉱監外堀及び石垣	建造物	H8.5.31	上宮町4丁目77番地 三池工業高等学校
	12 旧長崎税関三池税関支署	建造物	H26.3.14	新港町1番地25
	13 木造薬師如来坐像	彫刻	S33.4.3	大字今山2538番地 普光寺境内
	14 木造慈覚大師坐像	彫刻	S38.1.16	同上
市指定	15 黒崎山舟形石棺	考古資料	S32.8.13	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	16 宮原石層塔残欠	史跡	S33.4.3	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内
	17 不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	史跡	S33.11.13	大字今山2538番地 普光寺境内
	18 石造六地藏	史跡	S33.11.13	大字倉永872番地 法雲寺境内
	19 南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	史跡	S33.11.13	藤田町743番地 藤田天満宮境内
	20 石甲	史跡	S34.3.31	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館(九州国立博物館へ貸出・展示)
	21 今山普光寺ならびに定林寺石塔群	史跡	S36.4.18	大字今山字本村・字大塔
	22 宮原天満宮石層塔残欠	史跡	S37.4.19	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内
	23 蜜柑山舟形石棺	考古資料	S38.1.16	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	24 乙宮神社の石殿	史跡	S45.5.2	宮坂町20番地 乙宮神社境内
	25 倉永古墳壁画残欠	史跡	S57.4.1	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	26 高塚舟形石棺	考古資料	S57.4.1	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	27 古城山家形石棺	考古資料	S57.4.1	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	28 湯谷柳川鎮境界石	有形民俗文化財	S38.1.16	大字四ヶ字湯谷
	29 臥龍梅	天然記念物	S33.4.3	大字今山2538番地 普光寺境内
30 土穴のエノキ	天然記念物	S54.3.6	大字榎野字土穴928番地	
31 米ノ山断層及び石炭層の露頭	天然記念物	H18.3.3	大字榎野字石坂2964 焼山公園内	
32 三井港倶楽部	建造物	H17.12.9	西港町2丁目6番	
33 普光寺仁王像	彫刻	H5.3.10	大字今山2538番地 普光寺境内	
34 教養来天満神社石造狛犬	史跡	H12.4.14	大字教養来字権現堂1114番地 教養来天満神社	
35 四方佛塔(附 五輪塔地輪)	考古資料	S34.12.12	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
36 大間劫月院跡の石造遺物	史跡	S42.10.11	大字三池226番地	
37 明正寺六地藏	史跡	S42.10.11	大字三池779番地 明正寺境内	
38 定林寺中興開山塔	史跡	S50.3.18	大字今山字大塔 定林寺境内	
39 本村の四仏塔婆	史跡	S50.3.18	大字藤立字本村	
40 三池氏供養塔	史跡	S50.3.18	大字今山字大塔 定林寺境内	
41 焚石山鎮守社稲荷石祠	有形民俗文化財	S37.7.16	碑町6-23 石炭産業科学館	
42 岡天満宮祭礼行事	無形民俗文化財	S50.3.18	大字上内 岡・坂井地区	
43 三池地区祇園社祭礼行事「三池の大蛇山」	無形民俗文化財	H22.4.14	大字三池・大字新町	
44 歴代三池藩主墓地	史跡	S37.7.16	大字今山2585番地 紹運寺境内ほか	
45 上内立花内膳家墓地	史跡	S38.1.11	大字上内字権2246番地	
46 上内八幡宮のイチイガシ	天然記念物	S41.9.30	大字上内1528番地 上内八幡宮境内	
47 玉垂神社の大権	史跡	S44.6.11	大字碑2363番地 玉垂神社境内	
48 下正原のシラカシ	史跡	S61.4.16	大字藤立字下正原1685番地	
49 ノノ尾のアラカシ	史跡	S61.4.16	大字教養来字ノノ尾641番地	